

# Tone King

## Imperial MK II

### 取扱説明書



正規輸入代理店

Quanta Intl.

#### ビルダーからのコメント

Imperial MK II ギターアンプをお選びいただき、ありがとうございます。Imperialは、トーンキングが製造した最初のプロダクション・モデルです。1993年に発売され、20年以上にわたってギタリストに愛されてきました。MK IIのアップデートは、アンプの本質的なキャラクターを変えることなく、この20年間でアンプ・デザイナーとして学んだことをすべて取り入れています。どちらかと言えば、MK IIは、より本物のヴィンテージ・サウンドとフィーリングを追求しています。

Imperialをデザインしたのは1990年から1993年に遡ります。当時、私はFender Deluxe ReverbやFender Tweed Deluxeなどのヴィンテージ・アンプを聴いてインスピアイアされました。本物のヴィンテージ・アンプには、現代のアンプにはない魅力があるのは明らかでした。弾きたくなるようなフィーリング、トーンに透明感があり倍音が複雑で当時の新しいアンプにはない表現力を持っていました。私の目標は、そのヴィンテージ・マジックを表現できる新しいアンプを作ることでした。

電気技術者であった私達は、そのような設計に必要な電子的な要素をかなり容易に吸収することができましたが、キャビネットの設計となると行き詰まりを感じました。

音の良いヴィンテージ・スピーカー・キャビネットを使って電子設計のプロトタイプを作った後、初めて自分でスピーカー・キャビネットを作ったら、キャビネットが重要な役割を果たすことを痛感しました。何年もテスト・キャビネットを作り、木材の種類や構造方法、その他多くの要素を試した後、私はキャビネットのヴォイシングをどのようにコントロールすれば、自分の求めるサウンドやフィーリングを実現できるかという感覚を養い始めました。Imperialは、キャビネット・デザインにおけるこうした努力の恩恵を受けた最初のアンプであり、だからこそ長年にわたって成功を収めている特別なアンプなのだと思います。

それでも、私は主として実験家であり、自分の設計を改善するための新しい方法を学ぶことを止めませんでした。この新しいMK IIのデザインは、私が過去20年にわたって行ってきた開発作業を取り入れたもので、現時点できがきのことのベストを表しています。

具体的には、MK IIは私が「ハンドワイヤードボード」と呼んでいるレイアウト方式で作られています。

これは、あらゆる回路設計から最高のトーンを引き出すための理想的な構築方法だと私は考えています。部品の配置、配線の長さ、配線の取り回しの面で大きな利点があり、アンプのサウンドとフィーリングに実際に目に見える効果があります。

さらに、MK IIには新しいIronman/IIアッテネーターが搭載され、小音量時の耳の音の感じ方を補正するフレッチャー・マンソン・ボリューム補正と、小音量時のスピーカーの動作方法を補正する回路が搭載され、クランクしたアンプを小音量で鳴らしたときの体験を従来よりも維持できるようになったのは大きな進歩だと感じます。

この特別バージョンのインペリアルをお買い上げいただき、ありがとうございます。



## 安全について 取扱説明書

この取扱説明書は、今後の参照用として、またこのTone King アンプの所有期間中、大切に保管してください。新しいアンプをお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解ください。この取扱説明書には、アンプの使用とメンテナンスに関する重要な安全情報が記載されています。この取扱説明書に記載されているすべての警告記号や標識、そしてアンプ本体に印刷されている警告記号や標識に特に注意してください。



火災や感電を防ぐため、アンプを水や湿気にさらさないでください。  
水源の近くで使用しないでください。



矢印の三角マークが付いた稲妻は、製品の筐体内に絶縁されていない「危険な電圧」が存在することを警告するためのもので、感電の危険を構成するのに十分な大きさである可能性があります。



感嘆符のような三角形のシンボルは、このアンプに付属のユーザーマニュアルに重要な操作とメンテナンス（整備）の指示があることを警告するためのものです

- 1 説明書を読む - 本製品を操作する前に、すべての安全および操作説明書をお読みください。
- 2 取扱説明書の保管 - 安全および取扱説明書は、将来参照できるように保管してください
- 3 警告にご注意ください - アンプや取扱説明書に記載されている警告は、すべて守ってください。
- 4 指示に従ってください - すべての操作および使用上の指示に従ってください
- 5 水と湿気 - アンプは、バスタブ、洗面器、キッチンシンク、洗濯槽、濡れた地下室、プールの近くなど、水の近くでは使用しないでください。

- 6 カートとスタンド - アンプは、メーカーが推奨するカートまたはスタンドと組み合わせてのみ使用してください。アンプとカートの組み合わせは、注意して移動してください。急停止、過度な力、凹凸のある場所などでは、アンプとカートの組み合わせが転倒する恐れがあります。
- 7 壁または天井取り付け - 製品は絶対に壁や天井に取り付けないでください。
- 8 熱 - アンプは、ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、熱を発する他のアンプ（アンプを含む）などの熱源から離れた場所に設置してください。
- 9 電源 - 本製品は、定格ラベルに記載されているタイプの電源からのみ操作してください。ご自宅への電源供給が不明な場合は、製品販売店または最寄りの電力会社にご相談ください。
- 10 接地または極性 - 本製品には、極性交流ラインプラグ（片方の刃がもう片方より太いプラグ）が使用されている場合があります。このプラグはコンセントに一方向にしか入りません。これは安全機能です。プラグをコンセントに完全に差し込めない場合は、プラグを逆にしてみてください。それでもプラグが入らない場合は、電気技術者に連絡して、古くなったコンセントを交換してください。極性プラグの安全目的を破らないでください。
- 11 電源コード保護 - 電源コードは、プラグや便利なレセプタクルに対応するコードや、アンプから出るコードに特に注意し、その上に物を置いたり立てかけたりして歩いたり挟んだりしないように配線してください。
- 12 クリーニング - アンプのクリーニングは、メーカーが推奨する方法でのみ行ってください。水で少し湿らせた布で拭いてください。アンプ内部に水が入らないようにしてください。
- 13 不使用期間 - 長期間使用しない場合は、アンプの電源コードをコンセントから抜いてください。
- 14 物体と液体の進入 - 物が落下したり、開口部から液体が筐体内にこぼれたりしないように注意すること。
- 15 サービスを必要とする損傷 -  
以下のような場合は、資格のあるサービス担当者にアンプの修理を依頼してください：
- A. 電源コードまたはプラグが損傷している。
  - B. 物が落下した、または液体がアンプにこぼれた。
  - C. アンプが雨にさらされた。
  - D. アンプが正常に動作しない、または性能に著しい変化が見られる。
  - E. アンプを落としたり、筐体が破損した。
  - F. アンプに真空管の交換またはバイアスが必要
- 16 修理 - 使用者は、取扱説明書に記載されている以上の修理をアンプに対して行わないでください。  
その他の整備はすべて、資格を有するサービス担当者に依頼してください。
- 17 換気 - キャビネットのスロットと開口部は、換気のために設けられ、製品の信頼性の高い動作と過熱からの保護を保証します。開口部を塞いだり、覆ったりしないでください。ベッド、ソファー、敷物などの上に製品を置いて開口部を塞いではありません。本製品は、本棚やラックなどの作り付けの場所に設置しないでください。
- 18 アタッチメント - 製品メーカーが推奨していないアタッチメントは危険ですので使用しないでください。
- 19 付属品 - 不安定なカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルの上に本製品を置かないでください。製品が落下し、子供や大人が重傷を負ったり、製品に重大な損傷を与える恐れがあります。
- 20 雷 - 雷雨の前や、長期間使用せずに放置する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。これにより、雷や電源サーバーによる製品の損傷を防ぐことができます。
- 21 交換部品 - 交換部品が必要な場合、サービス技術者がメーカー指定の交換部品を使用しているか、元の部品と同じ特性を持っていることを確認してください。無許可の代用品は、火災、感電、その他の危険を招く恐れがあります。
- 22 全チェック - 本製品のサービスまたは修理が完了したら、サービス技術者に安全チェックを依頼し、製品が適切な動作状態にあることを確認してください。
- 23 ヒューズ - リアパネルに表示されている正しい定格とタイプのヒューズを必ず使用してください。適切な定格ヒューズは、本機を使用する国の AC ライン電圧によって決まります。

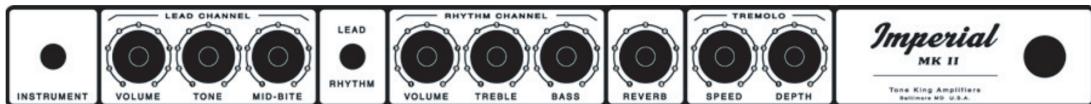
# 取扱説明書 目次

---

<b>1 フロントパネル・コントロール</b>	<b>4</b>
2つのプリアンプ・チャンネル – Lead and Rhythm	4
Rhythm Channel	4
Lead Channel	5
Reverb	5
Tremolo (Rate & Depth)	6
<b>2 バックパネル・コントロール</b>	<b>6</b>
AC電源	6
ヒューズ・電源スイッチ・スタンバイスイッチ	6
フットスイッチ	6
スピーカージャック	7
アッテネーター・コントロール	7
<b>3 Ironman/II アッテネーター</b>	<b>7</b>
アッテネーターの目的	7
アッテネーター・コントロール	7
アッテネーターの使い方	8
HF コンプ・スイッチ	8
リズム・チャンネル・バイパス・スイッチ	8
<b>4 自宅で素晴らしいサウンドを</b>	<b>9</b>
音響環境の影響	9
フロア・リフレクションズ	9
アンプの設置場所	9
カーペット	9
バックワード・アンプ・トリック	9
ヘルプ	9
<b>5 チューブの取付と交換</b>	<b>10</b>
チューブの種類とブランドの選択	10
代替チューブの選択	10
チューブの取り付け	10
出力管の交換	10
チューブの品質	11
<b>6 保証</b>	<b>11</b>
<b>7 CE宣言</b>	<b>12</b>

# 1 フロントパネル・コントロール

---



## 2つのプリアンプ・チャンネル - Lead and Rhythm

Imperialには2つの独立したプリアンプ・チャンネルがあり、それぞれが独自のボイシングを持っています。フロントパネルの "Lead/-Rhythm" スイッチ、またはフットスイッチの "Channel" スイッチでチャンネルを切り替えることができます。フットスイッチを使用する場合は、フロントパネルのスイッチを "Rhythm" のポジションにしてください。フットスイッチのLEDは、選択されているチャンネルを示します。LEDが点灯している場合、リード・チャンネルが選択されています。LEDが点灯していない場合は、リズム・チャンネルが選択されています。

## Rhythm Channel

Rhythm チャンネルには、Volume、Treble、Bass のコントロールがあります。このチャンネルは、「1960年代のビンテージ・クリーン・トーン」を提供するように設計されています。Imperialの以前のバージョンでは、このチャンネルはオーバードライブ・サウンドが少しキツくなる可能性があるため、クリーン・トーンにのみ使用することが推奨されていました。しかし、この新しいMK IIデザインで行われたレイアウトの改良は、リズム・チャンネルのオーバードライブ・トーンに大きな効果をもたらしました。きらびやかなクリーン・トーンに加えて、素晴らしいレンジのオーバードライブ・トーンも得られるようになりました。BassとTrebleのコントロールは、このタイプの本物のビンテージ・アンプと同じように動作します。以下は、リズム・チャンネルのサウンドを示す2つの設定例です：

### Clean Rhythm Tone

Volume	Treble	Bass	Reverb
3	4	6	5

これがインペリアルが目指していたクリーン・サウンドです。甘く、パンチがあり、バランスが取れており、ストラトの（ブリッジ+ミドル）ポジションに繋げば、"Sultans of Swing" のようなトーンが得られます。テレのミドル・ピックアップ・ポジションを試すと、トップに適度なアタリがあり、リッチなサウンドが得られる。どんなシングルコイル・ギターでも、ブリッジ・ピックアップのセッティングで、素晴らしいクラリティと適度なブライトネスのバランスが得られるはずです。

---

### Cranked Rhythm Channel Overdrive

Volume	Treble	Bass	Reverb
8	5	6	4

オールド・ツイン・リバーブをフルテンで鳴らしたような素晴らしいセッティングです。テレキャスターに接続して、ロイ・ブキヤンのリリックを引き出すにも最適。ストラトのブリッジ・ピックアップを使っても素晴らしいですが、このセッティングではアッテネーターを使った方がいいかもしれません。

# 1 フロントパネル・コントロール

---

## Lead Channel

リード・チャンネルはツイード・スタイル・プリアンプからスタートし、トーンキング独自の機能であるミッドバイト・コントロールを中心に構築された独自のトーン・シェイピング回路をドライブします。この独自回路は、ミッドバイト・コントロールを上げるにつれて、ベーシックなツイード・トーンをよりクランチなロック・トーンへと変化させます。これは、低域をタイトにし、超高域をロールオフし、ゲインを上げ、アッパー・ミッドレンジのピークを強調することで同時に達成されます。ミッドバイト・コントロールは、リード・チャンネルのサウンドを自分好みに調整するための鍵なので、1から9まで回してその効果を観察してみてください。

以下は、Leadチャンネルが提供するように設計された音色を示す、いくつかのサンプル・セッティングです：

### Old Style Fat Clean

Volume	Tone	Mid-Bite	Reverb
2	3	1	1

いろいろな使い方ができる良いセッティング。リズム・チャンネルよりも太いクリーン・サウンドで、わずかに箱鳴りし、トップ・エンドはスムース。テレキャスターを接続すれば、ホンキートンクやオールドタイムのカントリー・ミュージックに最適。ホロウボディのジャズ・ボックスに接続すれば、ウェス・モントゴメリーやグラント・グリーンのトーンにかなり近くなるはずです。

### Fat Tweed Overdrive

Volume	Tone	Mid-Bite	Reverb
9	4	1	3

このセッティングは、フルテンのツイード・デラックスのサウンドにインスピアイアされた、チャンキーなオーバードライブ・サウンドです。ブルース・プレイに最適で、シングル・ノートやダブル・ストップで真価を発揮します。

### Rock & Roll Tweed Overdrive

Volume	Tone	Mid-Bite	Reverb
6	5	8	2

よりロックンロールに近いセッティングですが、"ツイード・デラックス"らしさは健在です。前のセッティングよりもタイトなボトムエンドとクリーミーなミッドが得られるので、ロックコードのリズムを弾いたり、単音のラインを演奏するのに最適です。このセッティングを使うと、ビリー・ギボンズのリリックや、もしかしたら「キャット・スクラッチ・フィーバー」のようなものを感じられるかもしれません。

## Reverb

Imperialには2スプリング、チューブ駆動のリバーブ回路が内蔵されている。リバーブはリズム・チャンネルとリード・チャンネルの両方に適用されます。リード・チャンネルの高いゲインを補うため、リード・チャンネルのリバーブ・ドライブはわずかに減少しています。リード・チャンネルがハードにドライブされ、リズム・チャンネルがクリーン・トーンに設定されている場合に、プリアンプ・チャンネルを切り替える際にリバーブ・レベルを合わせるのに役立ちます。リバーブ・レベルは、フロント・パネルのReverbコントロールでコントロールします。このコントロールは、信号経路にミックスされるリバーブ信号の量を調整します。

## Tremolo (Rate & Depth)

Imperialのトレモロ回路は、昔ながらの "バイアス変調" トレモロ回路を改良したものです。

この回路は、出力管のバイアスを変化させることでトレモロ効果を実現しています。このタイプのトレモロは、1993年までの全てのトーンキングアンプに採用されていました。しかし、Imperial MK IIはこの回路を改良したものを使用しており、このタイプのエフェクトにありがちな不要なノイズをほぼ排除しています。この回路は、20周年記念モデルのImperialにも採用されています。

このタイプのトレモロ回路は、きれいな丸みを帯びたエフェクトを与えるが、オプト・カプラ・トレモロ（例えばFender Twin Reverbに見られるようなもの）と比べると好みが分かれるかもしれません。

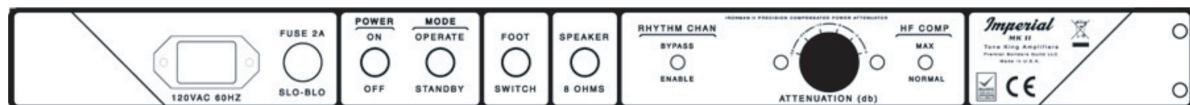
Depthコントロールはモジュレーション・エフェクトの強さを変化させ、"Rate"ノブはエフェクトのスピードをコントロールします。

フットスイッチを使用しない場合、トレモロ回路は常時アクティブになっているので、トレモロを使用しない場合は、"Depth"ノブを下げる必要があります。

フットスイッチを接続すると、フットスイッチでトレモロのオン/オフを切り替えることができます。

LEDがエフェクトの状態を表示します（LED点灯=トレモロ・オン）。

## 2 バックパネル・コントロール



### AC電源

必ずアース付きのACコードを使用し、アンプに適切なアースが接続されていることを確認してください。アンプへのアース接続を持ち上げたり、壊したりしないでください。

### ヒューズ・電源スイッチ・スタンバイスイッチ

標準的な 2A Slo-bloヒューズ（スタイル 3AG）を使用する必要があります。

アンプの電源を入れるときは、まず電源スイッチとスタンバイスイッチの両方を「オフ」の位置にしてください。

まず、Power スイッチをオンにします。これにより、真空管フィラメントと低電圧回路にのみ電源が供給されます。

Powerスイッチをオンにした後、真空管を約1分間ウォームアップさせ、次にStandbyスイッチをオンにする。

パワーダウンの手順は、パワーアップの手順ほど重要ではありません。アンプをオフにする場合、スタンバイの前にパワーをオフにしても、スタンバイをパワーより先にオフにしても、あるいは両方を同時にオフにしてもかまいません。

### フットスイッチ

フットスイッチとアンプは、付属のケーブル、または標準的な 1/4" TRS (ステレオ) -to 1/4" TRS (ステレオ) ケーブルで接続します。

フットスイッチで、プリアンプのチャンネル選択とトレモロのオン/オフの両方をコントロールできます。

LEDは、現在のスイッチング・ステータスを以下のように表示します：

チャンネル・スイッチ LEDオン=リード・チャンネル

トレモロ・スイッチ LED点灯 = トレモロ・オン

フットスイッチを使用する際は、フロントパネルのChannelスイッチをRhythmポジションに設定してください。

## スピーカージャック

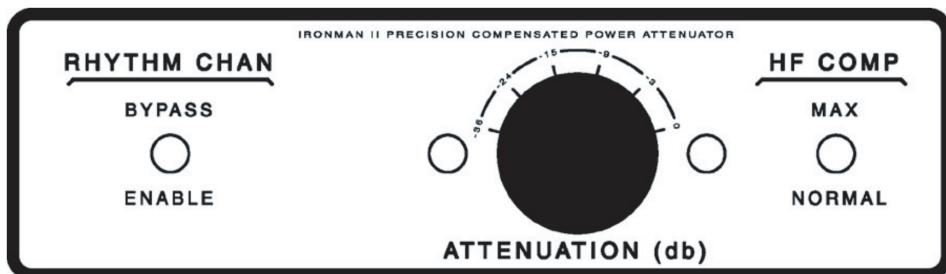
Imperialのスピーカー端子は1つで、インピーダンスは8オームです。拡張キャビネットを使用する場合は、8Ωのキャビネットを使用するのがベストです。内蔵スピーカーのプラグを抜き、ケーブルをスピーカージャックに差し込むと、標準的な1/4インチのモノラルスピーカーケーブルで接続できます。

## アッテネーター・コントロール

Ironman MK IIには、新しいIronman-II精密補正パワーアッテネーターが搭載されています。Ironman-IIの新アーキテクチャーは、オリジナルのIronmanデザインをさらに一歩進化させました。この回路には、非常に小さな音量での耳の音の感じ方と、非常に小さな出力でのスピーカーの性能を補正する回路が含まれています。この補正回路により、ベッドルームの音量でも臨場感あふれる豊かなサウンドを維持することができます。

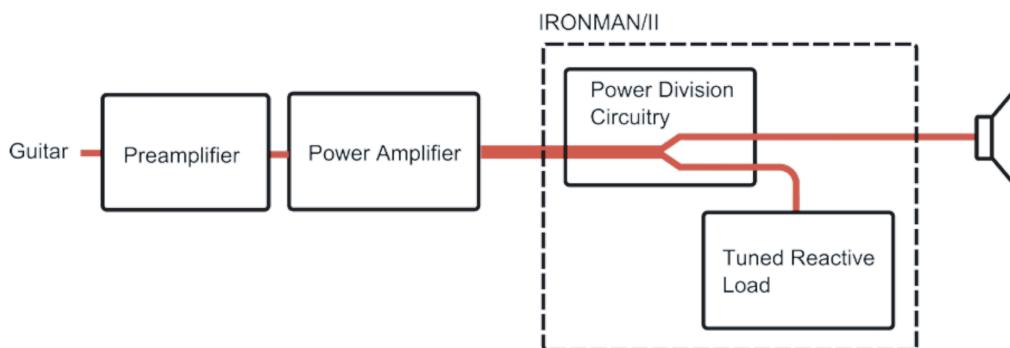
Ironman/IIの操作については、次のセクションで詳しく説明します。

## 3 Ironman/II アッテネーター



### アッテネーターの目的

ライブした場合、歪みのほとんどが出力管（トフェイズ・インバーター）で発生するように設計されています。出力段の歪みはプリアンプで発生する歪みとは異なるサウンドと感触を持ち、これがImperialのサウンドの大きな理由です。このような設計の問題点は、オーバードライブやディストーションを発生させる唯一の方法は、出力段を最大出力までブッシュすることであり、つまり非常に大きな音量になります。このレベルの音量は多くの状況において現実的ではないため、オーバードライブ・パワー管の素晴らしいサウンドを維持しながら音量レベルを下げる方法を見つける必要があります。出力管に最大限の出力パワーを発生させながら、音量レベルをコントロールする最善の方法は、アッテネーターを使用することです。アッテネーターは、アンプが生成するパワーをスピーカーと特別に設計された負荷回路で分割する回路です。そうすることで、下図のように、スピーカーに送るパワーの量を調整し、残りのパワーは負荷回路で吸収することができます：



### アッテネーター コントロール

前ページの図からお分かりのように、アッテネーターのコントロールは、アッテネーションレベルを選択するロータリーノブと、後述するその他の機能をコントロールする2つのスイッチで構成されています。

アッテネーター・ダイアルでは、0db が最もラウドな設定です。この設定では、アッテネーターは完全にバイパスされ、スピーカーはアンプの出力に直接接続されます。-36db は最も静かな設定です。この設定では、出力管で生成されたパワーのほとんどがアッテネーターで吸収され、スピーカーには数十ミリワットのパワーしか送られません。

## アッテネーターの使い方

まず、アッテネーターの基本的な使い方から説明します。実用上、Attenuationノブは「マスター・ボリューム」コントロールと同じ機能を提供すると考えることができます。つまり、"Volume" コントロールでプリアンプのゲインやオーバードライブ/ディストーションの量を調整し、"Attenuation" ダイヤルで出したい音量レベルを設定します。この動作を確認するために、実験してみるのもよいでしょう。

例えば、リード・チャンネルを選択し、アンプを次のように設定してみてください：

Volume	Tone	Mid-Bite	Reverb	Attenuation	HF Comp
6	5	8	2	-24db	Max

アンプで演奏しながら、Volumeコントロールを少し上下させてみてください。Volumeコントロールを少し変えるだけで、トーンは多少歪みますが、部屋の音量レベルにはあまり影響しないことがおわかりいただけるでしょう。その理由は、アンプの出力段は、アンプがブレイクアップ寸前であっても、すでに最大出力を発生しているからです。このポイントを超えてVolumeコントロールを上げると、出力段はそれ以上パワーを出すことができなくなり、オーバードライブが強くなるだけです。

この実験を試した後、ボリューム・コントロールを7に戻し、アンプの背面にあるアッテネーション・ノブを調節してみてください。部屋の音量レベルは変わりますが、オーバードライブやディストーションの量は変わらないことがわかるでしょう。これがアッテネーターの目的です。

## HF コンプ・スイッチ

前述の通り、Ironman/IIには特別な補正回路が搭載されており、Attenuationノブを0から最大設定の-36dbまで回すと、EQカーブとコンプレッション/プレゼンス量が段階的に調整されます。HF Compスイッチで、MaxとNormalの2段階のコンペニセーションを選択できます。Maxに設定すると、存在感が増し、明るいサウンドになります。Normal設定では、コンプレッションがやや強めになり、トップエンドが滑らかになります。このスイッチの目的は、アンプのサウンドを部屋の音響特性に合わせることです。部屋の特性は、大音量時よりも小音量まで減衰させた時の方が、サウンドに大きな影響を与えます。2段階の補正を設定することで、部屋の特性に合わせてプレゼンスとコンプレッションを調整することができます。

例えば、非常に明るい部屋で演奏する場合は、Normal設定を選ぶとよいでしょう。また、アンプの音が濁りがちな、反射の多い広い部屋で演奏する場合は、Max設定を選ぶとよいでしょう。

適切なセッティングは個人的な好みの問題なので、両方を試してみて、最も魅力的なものを選んでください。

## リズム・チャンネル・バイパス・スイッチ

リード・チャンネルのオーバードライブ・サウンドとリズム・チャンネルのクリーン・サウンドを行き来させたい場合、リード・チャンネルのオーバードライブ・ボリュームに見合うだけのクリーン・ボリュームをリズム・チャンネルで得るのが困難な場合があります。

このスイッチはその問題を解決します。

## バイパス

Bypass に設定すると、リズム・チャンネルが選択されるたびにアッテネーターがバイパスされます。つまり、Rhythm チャンネルを選択すると、Attenuation ノブの設定に関係なく、出力管によって開発されたフル・パワーがスピーカーに送られます。しかし、リード・チャンネルに切り替えると、アッテネーターは再びアクティブになります。Attenuationノブの設定に応じてボリューム・レベルを下げます。

このモードでは、リード・チャンネルとリズム・チャンネルを切り替えると（フロント・パネルのチャンネル・スイッチまたはフットスイッチを使用）、選択したチャンネルに応じてアッテネーターが自動的にオフ（バイパス）とオン（有効）になります。

## Enable

このモードでは、どのチャンネルが選択されていても、アッテネーターはオン（有効）となります。

# 4 自宅で素晴らしいサウンドを

---

## 音響環境の影響

大きな部屋や大きなステージで演奏する場合、アンプから素晴らしいサウンドを得るのは簡単です。一般的に、このような環境ではアンプをフルパワーにするだけで、素晴らしいサウンドが得られます。自宅や小さな部屋での演奏は話が別です。このような場合、部屋の音響特性がアンプ以上に影響し、アンプから聴こえるサウンドに現実的な問題を引き起こすことがあります。狭い部屋で起こり得る問題には、多くの種類があります。ここでは、それらに対処する方法をいくつかご紹介します：

### フロア・リフレクションズ

狭い部屋で、アンプを広葉樹やタイル、コンクリートの床の上に置いている場合、アンプの前の床が反射して、アップミッドレンジがキツく聴こえることがあります。この問題を解決するには、アンプの前に小さなカーペット（またはドアマットなど）を敷いてみてください。

### アンプの設置場所

まず始めに、インペリアルは床に直接置いたときが常にベストであることに留意すべきである（後に述べる1つの例外を除く）。床から離して、スタンドやその他の装置の上に置くと、音色のバランスが最適になりません。必要以上に薄く、明るい音になってしまいます。

次に、部屋のどこにアンプを置くか、そしてリスニングポジションに対するアンプの向き（アンプが自分に向いているか、自分から離れているか）によって、聴こえるサウンドが大きく左右されることがわかります。

部屋の中でアンプをいろいろな場所に移動させ、それぞれの場所でアンプを鳴らしてみて、最も良い音が出る場所を見つけることを強くお勧めします。

また、オンアクシス（自分に向けて直接聴く）かオフアクシス（自分から離して聴く）かによって、アンプのサウンドが劇的に変化することにお気づきでしょう。私は一般的に、ややオフアクシスなリスニングポジションをお勧めします。ご自分のリスニングルームに最適な向きを見つけるため、いろいろ試してみてください

### カーペット

カーペットが問題を引き起こすこともあります、高域をロールオフしてアンプの音を暗くするという単純なものではありません。多くの場合、カーペットは中音域のある部分に凹みを生じさせ、中音域の下側に穴を空け、アンプのサウンドをトップエンドでキツく、もろいものにしてしまいます。これは通常、アンプを部屋の別の場所に移動してもどうにもなりません。私が見つけた唯一の解決策は、アンプを床から数センチ上げることです。そうすることで、ボトムエンドが多少損なわれるかもしれません、ミッドレンジのレスポンスが滑らかになるというプラスの効果がそれを補って余りあります。

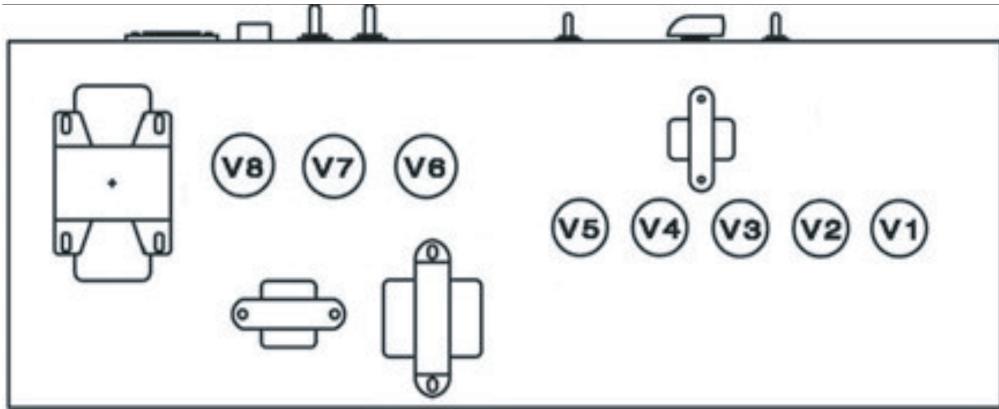
### バックワード・アンプ・トリック

小さな部屋では音響特性に問題があり、最高のアンプ・サウンドを得るために、より思い切った対策を講じる必要があります。ステージで使われているのを見たことがあるかもしれないトリックを紹介しよう。私のようにロイ・ブキャナンのファンなら、アンプを後ろ向きに置き、アンプの背面が客席を向くようにしたライブ・パフォーマンスのビデオを見たことがあるかもしれません。彼がライブでこのようなことをする理由は、ここで私たちが懸念していることとは多少異なりますが、それでも、狭い部屋でアンプの音に問題がある場合は試してみることをお勧めします。アンプのアップミッドレンジのピークーな音や、部屋全体が明るすぎる音に悩んでいる場合は、アンプの背面が自分の方を向くようにアンプの向きを変えてみてください。そうすることで、明るい部屋でも大きな違いが生まれます。

### ヘルプ

これまで、アンプをオーバードライブやディストーションに追い込む場合に、アッテネーターを使ってボリュームをコントロールすることを説明してきました。しかし、狭い部屋でのクリーントーンにも大いに役立ちます。通常、大音量で鳴らせる部屋では、クリーン・トーンをダイヤル・インする際、アッテネーター・ノブを0dbに設定するか、アッテネーターをバイパスします。こうすることで、常にヘッドルームが最大になり、明瞭度とダイナミクスが最大になります。しかし、部屋の中でアンプのサウンドがキツく聞こえたり、Volumeノブの設定を1と2の間にしているためにボリューム・コントロールが難しい場合は、アッテネーターが役立ちます。HF CompスイッチをMaxに設定した状態で、アッテネーターを数段下げて（例えば-15db）、Volumeコントロールを少し上げて補正してみてください。アップミッドが滑らかになり、存在感を失うことなくトーンが太くなるのがわかるはずです。

## 5 チューブの取付と交換



### チューブの種類とブランドの選択

現在、推奨するチューブタイプは以下の通りです：

No.	Type	Function
V1	12AX7	Stage 1 (Rhythm+Lead), Stage 2 (Lead)
V2	12AX7	Stage 2 (Rhythm), Stage 3 (Lead)
V3	12AT7	Reverb Driver
V4	12AX7	Reverb receiver
V5	12AX7	Phase Inverter
V6-V7	6V6	Output Tubes
V8	5AR4	Rectifier

### 代替チューブの選択

ゲインを下げる：プリアンプのゲインが高すぎると感じ、十分なクリーン・ヘッドルームを得るためにボリューム・コントロールをかなり下げている場合は、12AU7をV2ポジションにスワップしてみてください。12AU7をV1ポジションに交換すれば、さらにゲインを下げることができます。

コンプレッションの追加：もう少し出力を落として、ルーズなフィーリングにしたい場合は、整流管を5Y3に変えてみるといいかもしれません。私の好みは古いNOS RCAの5Y3ですが、現行品の5Y3よりも音が良いです。

### チューブの取り付け

真空管を取り付ける際、アンプをテーブルの上に置き（スピーカーは地面を向いています）、アンプの背面を直接ライトで照らすと、真空管の位置が分かりやすいでしょう。真空管は正しい向きで取り付けなければなりません。小型のオールガラス管は、ピンのリングに空白があり、シャーシにある真空管ソケットの真空管ピンのリングの空白と一致しなければなりません。ベークライト・ベースの大型チューブは、チューブ・ピンのリングの中央に割り出しキーの付いた小さなシリンダーがあり、この割り出しキーは、シャーシ上のソケットの対応するスロットに合わせなければなりません。

### 出力管の交換

Imperialの出力段は完全にカソードバイアスされており、出力管を交換してもバイアス調整は必要ありません。Imperialの出力段の設計は、真空管特性のばらつきに対してかなりのマージンを持たせているため、既知のどのブランドの6V6でも取り付けることができ、適切に動作し、適切にセルフバイアスされます。

## チューブの品質

現在製造されている真空管は、中国、ロシア、チェコ共和国で製造されており、真空管製造の "栄光の時代" に米国メーカーが製造した真空管と同じ品質基準で製造されているわけではない。私たちミュージシャンは、その音色のために真空管を選ぶが、最近手に入る真空管は不完全な装置である可能性があり、アンプ全体の中で最も信頼性の低い部品であることは間違いない。真空管の問題は一般的に、パチパチというノイズやマイクロフォニックスとして現れます。このノイズは、連続的、散発的、機械的な振動に反応して、あるいは、特にコンボ・アンプでは、演奏に反応して発生することがあります（例えば、音を叩いたときだけパチパチというノイズが発生するなど）。

当社では、すべての真空管を徹底的なバーンインとテストにかけることで、真空管が完全に仕様に適合し、完璧に動作することを確認しています。しかし、真空管の故障のほとんどは、その寿命の初期に発生し、アンプが輸送中に受ける揺れや衝撃のために発生する可能性があることにご注意ください。TONEKINGでは、徹底的なテストを行っていますが、初期の真空管の不具合は、そのようなテストでは必ずしも見つけることができません。最初の2ヶ月ほどは、どの真空管セットにとっても最も不安定な時期です。製造上の欠陥のほとんどは、最初の2ヶ月で明らかになりますが、多くは、バーンイン期間後でさえ、初期テストでは検出できません。

この期間中、アンプのノイズ、クラックリング、ハム音、その他の異常な動作に気づいたら、それは真空管の欠陥によるものである可能性が高いので、デバッグする必要があります。

## 6 保証

Tone Kingをお選びいただきありがとうございます。Tone Kingは、世界有数の最も信頼性の高いハンドワイヤリング・オールチューブ・アンプとスピーカー・キャビネットです。

当社は、出荷前に各製品に対して徹底的なテストを実施しています。万が一、アンプに問題が発生した場合は、別紙の保証書をご参照ください。

### アンプ

Tone Kingの保証を利用するには、購入証明書を保管してください。本保証は、事故、怠慢、乱用、通常および摩耗、災害、誤用、乱用、過度のパワーアップ、過失、不適切な梱包または発送手順、トーンキングが書面で承認または承認していないサービス、修理、製品への改造によって生じた損傷を修理するためのサービスや部品には適用されません。**アンプの改造は保証を無効にします。**本製品が上記の保証のとおり材料または製造上の欠陥がある場合、修理または交換となります。

**注意：ご自身でアンプの修理、改造、サービスを行わないでください！**  
**すべての安全に関する通知、警告、指示については、取扱説明書をお読みください**

他の真空管アンプと同様、Tone Kingにも非常に高い電圧がかかっています。アンプからシャーシを取り外さないでください。すべての修理およびサービス作業は、販売店を通して代理店の許可の元、行って下さい。許可なく修理を行った場合、保証は無効となります。

### チューブ

Tone Kingは、Tone Kingに使用されている特定のチューブが、購入日から90日間、材質および製造上の欠陥がないことを、最初の購入者に保証します。日付入りの販売レシートがあれば、この保証の適用範囲となります。この真空管保証は、最初の小売販売日から90日後に自動的に終了します。この真空管保証は、他のすべての明示的な保証に代わるもので、90日間の保証期間内に真空管が故障した場合、販売店へ連絡の元交換または修理を行って下さい

### 偶発的または結果的損害

Tone Kingは、いかなる場合においても、Tone King製品の使用または使用不能から生じる偶発的または派生的損害について、たとえ Tone Kingのディーラーがそのような損害の可能性について知らされていたとしても、あるいは他のいかなる当事者によるその他の請求についても責任を負いません。

トーンキングを選んでいただき、ありがとうございます！



正規輸入代理店

Quanta Intl.

サポートはこちら

<https://quanta-intl.jp/support/>

## 7 CE宣言

---

Premier Builders Guild, LLC  
201 S. Highland Avenue, Suite 204  
Pittsburgh, PA 15206  
412-362-0309



### DECLARATION OF CONFORMITY Report #R070212

We, Premier Builders Guild, in coordination with CES Laboratories, declare, taking this declaration under our total responsibility, that the below models are in conformity with the provisions of the following EC Directive(s) when installed in accordance with the installation instructions contained in the product documentation:

2006/95/EEC Low Voltage Directive  
2004/108/EEC EMC Directive  
2011/65/EEC RoHS-Directive

---

And that the standards and/or technical specifications have been applied to the following families of products:

Manufacturer/Importer	Imperial	Metropolitan
Date: 8/25/2015	Galaxy	Falcon
	Sky King	Royalist
	Imperial MK II	Falcon Grande
	Ironman II Mini	Gremlin

Signature:

Name and Title: Christopher W. Fleming  
V.P. PROJECT ENGINEERING

Approved By:  
Chandra Garudachar  
President  
CES LABORATORIES

Prepared By:  
Jyotsna Bedi  
23361 Cypress Pt  
Mission Viejo, CA 92692